

What IS IT?

ISIT : Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

編集 ISIT総務広報部 龍 督茂

INDEX

今号の主な内容

- ISIT-KDDI 市民特別講演「スマホ・ケータイを正しく知って安全に使いましょう」を開催 P1~P2
- 「北部九州発のイノベーションをアジア・世界へ」~Joint-IFF活動声明2016~を開催 P3
- 「第2回ちいむ百の糸勉強会」レポート~次世代レーザープロセッシング共同研究体の「産・学・産連携」と大学の新しい役割~ P3
- 福岡市IoTコンソーシアム(FITCO)始動 P4
- 第4回BODIKワークショップ「データ解析・AIを使ってみよう!!」開催報告 P4
- オープンソースカンファレンス2016 Fukuoka 開催報告 P4~P5
- 分析・解析よろず相談「分析NEXT」本格始動 P5
- “わかりやすい”「市民生活へ貢献する研究開発事例」② P5
- 新スタッフ紹介、新賛助会員紹介、各種セミナー開催のお知らせ P6

ISIT-KDDI 市民特別講演 「スマホ・ケータイを正しく知って安全に使いましょう」を開催

平成28年11月10日

公益財団法人九州先端科学技術研究所(ISIT)は、平成26年より、市民に身近なテーマを取り上げる市民特別講演を開催しています。平成28年は、市民の関心の高いスマートフォン・携帯電話の安全な使い方をテーマに、「スマホ・ケータイを正しく知って安全に使いましょう」を、平成28年11月10日に開催致しました。

ISITは情報セキュリティ研究室を持ち、毎年KDDI総合研究所とKDDI-ISIT技術セミナーを開催していることもあり、通信キャリアでもあるKDDI株式会社との共催で行いました。

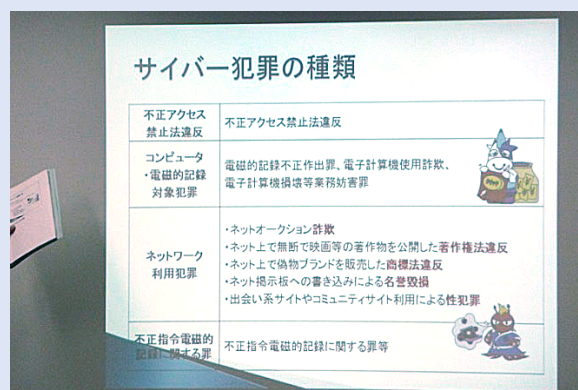
スマートフォン・携帯電話は今や国民の生活必需品であるばかりでなく、誰もが簡単に世界につながる情報端末となっています。便利な反面、トラブルも増加しています。当研究所の情報セキュリティ研究室の研究テーマでもある、サイバーセキュリティにも関わる犯罪から、情報サークル間のトラブル、いじめ等、あるいはインターネットショッピングや通信販売のトラブル、スマートフォン・携帯電話を使った詐欺など、多くの問題が生じています。

この為、今回の講演では、3つの分野の専門家を講師に招き実例を上げて講演を行って頂きました。

当日は、雨模様の寒い日でしたが、参加の市民の方々は、メモを取りながら熱心に聴講されていました。

講演 1

福岡県警察本部サイバー犯罪対策課「サイバー犯罪の動向と対策」

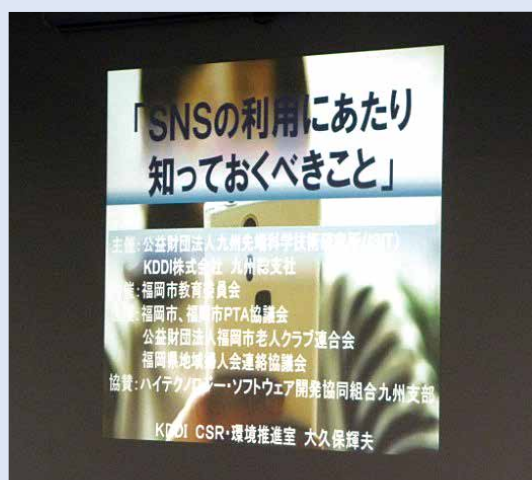


ISITと福岡県警察本部は、地元国立2大学、他と、産学官連携によるサイバーセキュリティに関する協定を平成28年6月に締結しました。また、これに先立つ5月には、ISIT情報セキュリティ研究室長の櫻井九州大学大学院教授が九州管区警察本部のサイバー対策顧問に就任しています。

こうした経緯もあり、福岡県警察本部より、サイバー犯罪対策課管理官の兼高警視を講師に迎えることができました。

講演では成績アップのご褒美に親から買ってもらったスマホを巡り、知らず知らず犯罪に巻きこまれる高校生のDVD放映等があり、参加者も真剣に聴いていました。特に、スマホで撮った写真にGPSデータが加わり、場所を特定できる話には皆さん驚いていました。

講演2 KDDIスマホ・ケータイ安全教室「SNSの利用により知っておくべきこと」



冒頭、KDDIスマホ・ケータイ安全教室の大久保専任が、「私の講演では、ストレートな表現やショッキングな画像も出ます」と述べた通り、生々しいトラブルの実例が紹介されました。講演後のアンケートでも、トラブルの実態がよくわかり大変勉強になったとの意見が多くありました。

この講演では、機械やシステムで、青少年向けのフィルターをかけても、好奇心旺盛な子供たちにはあまり意味がなく、親子で十分コミュニケーションを取り、具体的な危険性を説明し、親が子どものスマホの利用を人的に制限するペアレンタルコントロール等、種々の取り決めを行う人的フィルターが重要だと述べました。

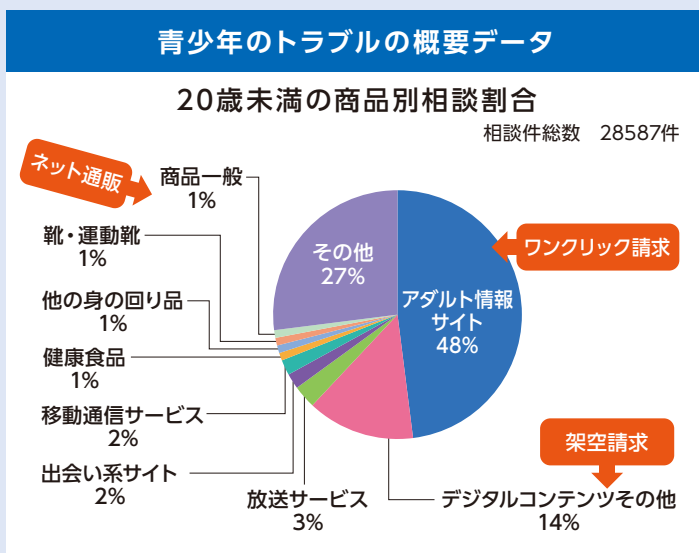
軽い悪ふざけで動画をアップロードしたことにより、人生が大きく狂った例、限られたサークル内のSNS内であっても、一瞬の内に自分の情報が世界に拡散する可能性があることなどを、実例を示しながら紹介され、参加者はメモを取りながら熱心に聴き入っていました。

講演3 福岡市消費生活センター「青少年のスマホ・ケータイトラブル実例と対策」

福岡市消費生活センターの講演は、上記2講演とは別の視点から講演を行いました。スマホを使ったワンクリック詐欺の手口や、それらに騙されないようにするには、また最近の詐欺である荷物転送詐欺の手口などを紹介し、これらに騙されないように注意を喚起しました。

詐欺の手口も、技術の発展に伴い巧妙さを増していることを、わかりやすく実例を交えて説明しました。

ISITでは、今後も市民の皆様身近なテーマを取り上げ、市民特別講演を行っていく予定です。公益財団法人である中立的な立場を活用し、今回のように、視点が異なったり、異業態の複数の団体を結びつけ、真に市民に皆様に役立つ講演を行いたいと思っています。



2014年度国民生活センターのデータより

「北部九州発のイノベーションをアジア・世界へ」 ～Joint-IFF※1活動声明2016～を開催

平成28年10月21日

九州先端科学技術研究所(ISIT)、福岡県産業・科学技術振興財団(ふくおかIST)、北九州産業学術推進機構(FAIS)は、それぞれの特徴を活かした連携によりイノベーションを創出し、地域社会の発展に貢献する活動を行うため、「三団体連携協定書」を締結し、この連携体をJoint-IFF※1と命名しました。今回、この新たな地域間連携について知っていただき、ご活用いただくため、セミナー&ポスターセッションを、平成28年10月21日に北九州市若松区の北九州学術研究都市で開催しました。

Joint-IFFのセミナーとしては、平成27年度に次いで2回目のセミナーとなりますが、上記「三団体連携協定書」を締結後では初のセミナーとなり、それぞれ三団体の得意とする分野で力のこもった講演を行いました。今回、講演会場となった北九州学術研究都市では、10月20日より、第16回産学連携フェアを行っており、その催事の一つとして、今回の講演を行いました。

※1 Joint-IFF: ISIT、ふくおかIST、FAISとの北部九州広域連携



「第2回ちいむ百の糸※2勉強会」レポート

～次世代レーザプロセッシング共同研究体の「産-学-産連携」と大学の新しい役割～

平成28年12月1日

平成28年12月1日の、九大学研都市駅の間近にロケする九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)にて、標記をテーマに九州大学大学院システム情報科学研究院ギガフォトンNext GLP共同研究部門教授の池上浩先生から活動紹介をして頂きました。

「産-学-産」による次世代レーザプロセッシング共同研究体の仕組みは、レーザの製造メーカ(産)とレーザ利用により半導体や材料や装置の開発を先進的に進めたいメーカ(もう一方の、産)との「産-産連携」を大学が仲立ちすることで、イノベーションが効果的かつ迅速(しかも開始されれば自走的に)生み出されることに大きな特徴があります。大学は、製造メーカの最新の装置群をラボ内に設置して、常に装置のポテンシャルが最大発揮される「共創の場」をリアルに提供します。それに加え、アカデミアのもつ課題解決力・新規提案力・中立的調整力が多様な局面で生かされて、開発が加速度的に進み、企業間の利害調整においてさえ事前のロジカルかつ信頼感の高い意識合わせによって無用のトラブルが回避されています。こうした円滑な連携を可能にしているのは、仲立ちとなっている池上先生の学識や経験ばかりでなく、飾らないオネストなお人柄も大いに寄与していると実感しました。

講演後は、「連携スタイル自体が多種多様で一つとして同じケースはない。権利関係も本質的にはシビアなもの。このような共同研究がどうして可能なのか?」という疑問に関わる質疑が多数ありました。しかし、それらの応答の中で、上述しましたようなアカデミアの見事な手綱さばきがいくつもの課題を乗り越えている実情を理解できました。

課題解決の場を「アカデミアやサイエンティフィックな知的人材集団」が担うことによって、地域企業にとって当事者の想像以上の成果が上がる仕組みは、福岡市産学連携交流センター(FiaS)で実施されている「分析NEXTよろず相談」(ISITやOPACKも協力しています)と共通する部分が多く、また、これらの活動が九大学研都市の中で複数芽吹きつつあること、それらが学研都市の活力を相乗的に高める働きを始めたことを実感し、たいへん感銘深い「勉強会」となりました。

今後も「ちいむ百の糸※2」では、産学連携の「百の(多様多彩な)糸口(キーポイント・幕明け)」となる勉強会(支援団体メンバ中心)やオープンセミナー(産学官ステークホルダー集結)を企画・お声かけ・運営を続けていきます。

※2 ちいむ百の糸: ISIT、ふくおかIST、AiRIMaQ、九大TLO、OPACKの5機関で、研究成果を公表するセミナーを開催

福岡市IoTコンソーシアム(FITCO)始動

平成28年11月29日

11月29日(火)にSRPセンタービルで福岡市IoTコンソーシアム(FITCO:フィテコ)のキックオフイベントを開催しました。設立発起人の一人である当研究所副所長である村上和彰(九州大学名誉教授)の講演に始まり、経済産業省情報処理振興課上松真也課長補佐の講演、IoTベンチャーのピッチコンテスト、アマゾンウェブサービスジャパン(株)辻義一氏のご講演と続き、最後は交流会でのLT(ライトニングトーク)も行われました。FITCO会員企業の方を中心に160名を超えるみなさまにご参加いただきました。



FITCOは、オープンなコンソーシアムを構築し、多様な方々の参画によるIoTの実証実験を実施することにより、オープンイノベーションを促進し、新たなサービス、新たな価値を生み出していきます。現在実施している会員企業のみなさまの意向調査を基にチーム分けを行い、次年度は複数の分野でIoT実証実験にトライしていく予定です。随時入会受付中です。関心がある方は是非参画いただき、一緒に取り組みましょう。



福岡市IoTコンソーシアムでは、IT、IoT関連企業のみでなく、金融機関やユーザー企業など、様々な分野の会員を募集しています。会費は無料ですので、是非入会をご検討ください！

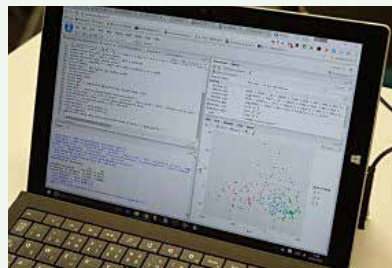
申込みはこちらから→ <http://www.fitco.jp/about/entry/>

第4回BODIKワークショップ 「データ解析・AIを使ってみよう！」開催報告

平成28年10月26日

BODIKワークショップは、オープンデータのアプリケーション開発や、AIやデータ分析などデータ活用について体験するワークショップです。過去に3回開催しており、今回が4回目の開催となります。

機械学習は本で学習するにはハードルが高いという声に答え、第4回ワークショップは「まずはできることを幅広く体験してみよう！」という方針で、コマンドをコピーペーストするだけで、いくつかのアルゴリズムを体験できる内容で開催しました。遺伝的アルゴリズムやニューラルネットワークなどを体験し機械学習の雰囲気を感じて頂けたのではないかと思います。



20名定員を大幅に超える33名が参加し、アンケートからは継続企画を期待する声が大きかったため、次回も機械学習のワークショップを開催する予定です。



BODIKワークショップ過去の開催実績

- 第1回「オープンデータ・アプリケーション開発入門」
- 第2回「初めてのSPARQL」
- 第3回「オープンデータを活用しよう～初めてのウェブアプリ」

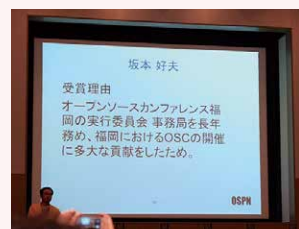
オープンソースカンファレンス2016 Fukuoka 開催報告

平成28年11月19日

今年で10回目を迎えるオープンソースカンファレンス福岡が11月19日(土)にSRPセンタービルで開催されました。300名を超える参加者があり、セミナー29コマ、展示44ブースで今年も盛り上がりました。今年は学生LT(ライトニングトーク)大会も開催され、多くの若い人が参加しました。

当日はオープンソースカンファレンス開催に多大な貢献をした人を表彰する「OSCアワード」がサプライズで発表され、福岡での開催に関して立上げから長年事務局を務めているISIT産学連携コーディネータ 坂本 好夫氏が第5回OSCアワードを受賞しました。

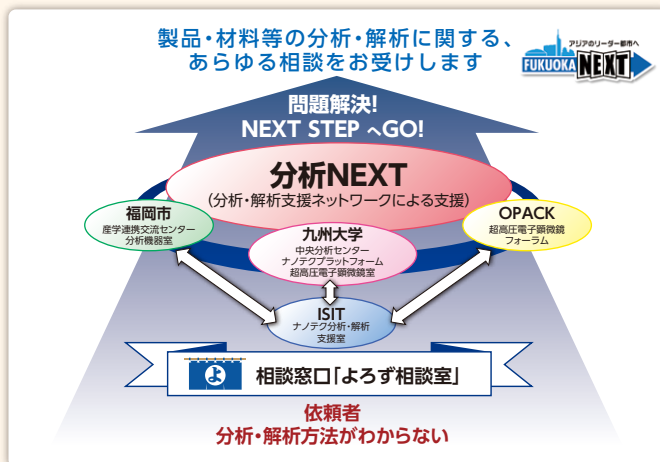
オープンソースカンファレンス福岡は、福岡エリアのITコミュニティ連携のため、今後も継続して開催していきますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いします。



分析・解析よろず相談『分析NEXT』本格始動

ISITでは、福岡市・九州大学・(公財)九州大学 学術研究都市推進機構(OPACK)との4者連携による取組として、産業界における製品・材料等の分析・解析に関する課題の解決を支援する相談窓口を開設しました。初期相談は無料ですので、「もしかしたら分析することで問題解決できるかもしれないが、分析のノウハウがない。」など、お困り事があるときは、お気軽に相談ください。幅広い課題に対し、多様な専門家が相談に応じます。

詳しくはHP(<http://next.isit.or.jp>)まで。



“わかりやすい”「市民生活へ貢献する研究開発事例」②

連載特集

ISIT研究室の研究内容をわかりやすく連載で紹介します。

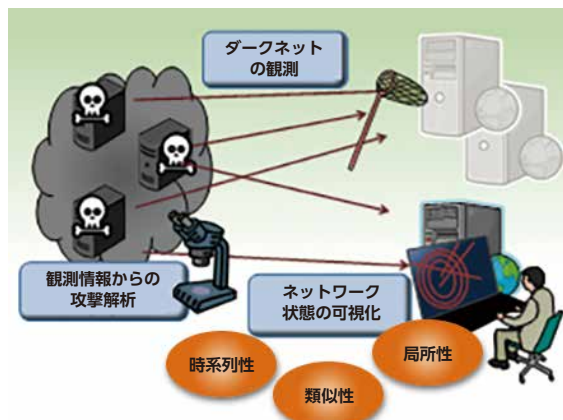
今回は、一面の市民特別講演にも関係する「情報セキュリティ研究室」の研究内容です。

国際的なサイバー攻撃に対する予知技術の研究

情報セキュリティ研究室

近年、公共機関や企業等の情報インフラのセキュリティを脅かす国際的なサイバー攻撃による被害が深刻化しており、攻撃に用いられる悪性ソフトウェアの種類の急増、攻撃手法の高度化・巧妙化等が問題となっています。

当研究室では、大学、企業、研究機関と共同で総務省の委託を受け、平成23年度より5か年計画でサイバー攻撃



国際的なサイバー攻撃に対する予知技術の研究

の予知技術に関する研究開発を進めてきました。最終年度である平成27年度は、ダークネット(サイバー攻撃観測用のネットワーク)の観測に基づき開発した各種攻撃検知エンジンを核とし、悪意のあるソフトウェアであるマルウェア等による攻撃を洗い出すためのスクリーニング技術(情報をふるい分け・選別する技術)や悪性ソフトウェアの分類方式、通信トラフィックデータの可視化のための技術を統合したシステムを完成させました。

本システムを用いて収集されたネットワーク監視情報は、インターネットサービス提供者等に提供され、ネットワーク上の脅威を察知する早期警戒に活用されています。

新スタッフ紹介



山本 幸二

10月より、富士通九州ネットワークテクノロジーズから企業派遣研究員として、情報セキュリティ研究室でお世話になっております山本 幸二です。

これまでは、通信装置や通信システムの開発を行ってきました。情報セキュリティの研究ということで分からないことばかりですが、頑張りたいと思います。

よろしくお願いします。

賛助会員《法人》ご紹介 ～ご入会ありがとうございました～

■一般社団法人 救急医療・災害対応無人機等自動支援システム活用推進協議会(EDAC)様

IoT、ウェアラブル、クラウド・・・そしてドローン。これら最先端のテクノロジーを命を救うために活用します！

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学アントレプレナープラザ205号 リアルグローブ EDAC窓口

TEL&FAX:03-5413-7398

各種セミナー開催のお知らせ

第5回 KDDI総合研究所-ISITセミナー

『IoT時代のネットワークセキュリティセミナー』～IoTビジネスの未来とセキュリティの課題～

開催日時:平成29年2月13日 14:00～17:00(受付開始 13:30～)

場 所:KDDI九州総支社大会議室(福岡県福岡市博多区博多駅前1-2-5 紙与博多ビル10F)

詳細は <http://www.isit.or.jp/event/2016/12/05/2417/> でご確認ください。

賛助会員募集

ISITでは、賛助会員の募集を行っています。

会員特典

1

ISITが主催する各種セミナーの **参加料が無料**

会員特典

2

ISITが行う技術コンサルティングが **割引料金**

会員特典

3

ISITが発行する **刊行物の配布**

会員特典

4

ISITが保管する **IT、ナノテク関係資料閲覧等**

詳細はこちらまで！ISIT総務広報部

TEL:092-852-3450・FAX:092-852-3455

E-mail:koryu@isit.or.jp

ISITでは、定期交流会や各種セミナーの情報などを配信しております。メールマガジンのお申し込みはホームページからお手続きいただけます。

<http://www.isit.or.jp/about/publication/mailmagazine/>

発 行

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 ISIT

Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目1-22

〈福岡SRPセンタービル7F〉

Fukuoka SRP Center Building 7F

2-1-22,Momochihama.Sawara-ku,Fukuoka City 814-0001

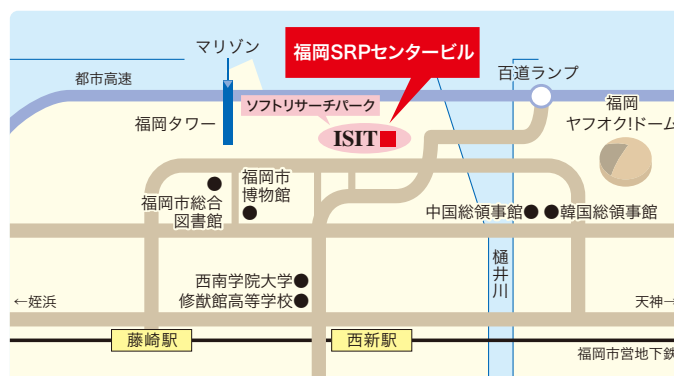
● TEL 092-852-3450

● FAX 092-852-3455

● URL:<http://www.isit.or.jp>

● E-mail:koryu@isit.or.jp

● 制作:ダイヤモンド秀巧社印刷株式会社



九州の科学技術をリードする
研究拠点として



ISIT

公益財団法人

九州先端科学技術研究所(ISIT)

賛助会員のご案内

お問い合わせ、入会手続きは、
ISIT総務広報部まで
(isit-soumukouhou@isit.or.jp)

● 賛助会員の特典

1. ISITが主催する定期交流会、技術セミナー等に無料で参加できます。
2. ISITが行う先端科学技術（システム情報技術、ナノテクノロジーなど）に関する技術コンサルティングを割引料金で利用できます。
3. ISITが発行する広報誌「What IS IT?」（年4回）や活動報告書等の刊行物の配布が受けられます。
4. ISITが保管する先端科学技術（システム情報技術、ナノテクノロジーなど）関係資料等の閲覧ができます。
5. ISITコミュニティスペースや会議室で賛助会員限定の設備・備品が利用できます。

● 賛助会費（年会費） 法人会員：1口 6万円、個人会員：1口 1万円

賛助会員入会申込書

公益財団法人九州先端科学技術研究所 御中

貴研究所の事業目的に賛同し、賛助会員として入会を申し込みます。

平成 年 月 日

ふ り が な			
氏名又は団体名	印		
団体の場合 代表者氏名			
住 所	〒		
電 話 番 号		F A X 番 号	
担 当 部 ・ 課 名			
担 当 者 名		電 話 番 号	
申 込 口 数	1. 法人 ☐ 2. 個人 ☐		
賛助会費振込先	1. 福岡銀行（西新町支店）普通 1791051 2. 西日本シティ銀行（シーサイドももち出張所）普通 0133919		
担当者 メールアドレス	定期交流会等のご案内を差し上げますので必ずご記入ください。		
Web ページ URL	http:// 貴研究所の賛助会員ページに上記ページをリンクすることに 1. 同意します 2. 同意しません		

※お願い 氏名又は団体名は正式名称をご記入下さい。